

大阪市営地下鉄の民営化実現に向けて

公益社団法人 関西経済連合会

現在、大阪市会において、大阪市営地下鉄の民営化についての議論が行われている。市営地下鉄は、関西都市圏の公共交通ネットワークを支える重要な都市インフラである。利用者の広域性や事業規模の大きさなど、関西経済全体への影響を考えると、今後の維持・発展が可能な組織に変革することは望ましい方向である。当会としては、今般示された「民営化基本方針(案)」のもと、厳しい大阪市財政への依存からの脱却を図り、利用者の利便性向上や経営基盤の強化をめざす基本的な考え方を支持する。

民営化によって経営の効率化と収益を追求するのは当然であるが、長年地域の足として利用されてきた公共インフラとしての役割を維持しつつ、常に広域的な視点をもって、関西全体の活性化に貢献する存在になることを期待したい。

関西では、関西国際空港への交通アクセスの改善が喫緊の課題であり、うめきたはじめ都心部で進行中の新しいまちづくりの経済効果を広く関西全体に波及させるための拠点間連携が不可欠である。また、観光インバウンドの増加に対応したハード・ソフト両面での受入基盤強化やサービス向上が求められている。こうした広域的な課題を解決するために、関西・大阪の将来の発展に資する鉄道ネットワーク全体のあり方について鉄道事業者はじめ関係者が検討を深めることが必要である。民営化後の地下鉄においては、これらに適切に経営判断しうるような体制を構築してもらいたい。

以上のような観点から、大阪市会においては、民営化の実現のための諸課題について建設的な議論を求めたい。

以 上